

証券取引等監視委員会 中期活動方針(第9期) ～四半世紀の活動を踏まえた新たなステージへ～



証券監視委の使命

1. 市場の公正性・透明性の確保及び投資者保護
2. 資本市場の健全な発展への貢献
3. 国民経済の持続的な成長への貢献

証券監視委が目指す公正・透明な市場の姿

全ての市場利用者がルールを守り、誰からも信頼される市場

<主な構成要素>

1. 上場企業等による適正なディスクロージャー
2. 市場仲介者による投資家のための公正・中立な行動
3. 全ての市場利用者による自己規律
4. プロフェッショナルな監視メカニズム

証券監視委における価値観

公正性
(公正・中立な視点)

説明責任
(全体像・根本原因の把握
及びその対外的発信)

将来を見据えたフォワード・
ルッキングな視点
(不正行為の予兆を早期に発見)

実効性及び効率性
(資源の効果的な活用)

協働
(自主規制機関、海外・国内
当局等との緊密な連携)

最高水準の追求
(監視のプロとして最高
水準を目指す)

環境分析

グローバル経済の不透明化

市場のグローバル化の進展

IT技術の進展

国民の安定的な資産形成や投資の裾野拡大に向けた取組み

戦略目標

1. 網羅的な市場監視(広く)

- ①新たな商品・取引等への対応
- ②あらゆる取引・市場を網羅的に監視
- ③全体像の把握(部分から全体へ)

2. 機動的な市場監視(早く)

- ①問題の早期発見・着手
- ②早期の対応による未然予防の実現
- ③迅速な実態解明・処理による問題の早期是正

3. 深度ある市場監視(深く)

- ①問題の根本原因の追究
- ②横断的な視点による深度ある分析を通じた構造的な問題の把握

施策

(1)内外環境を踏まえた情報力の強化

- 市場環境のマクロ的な視点での分析等によるフォワード・ルッキングな市場監視
- 海外当局との信頼関係醸成による情報収集の強化及び市場監視への活用
- 市場監視の空白を作らないための取組み

(2)迅速かつ効率的な検査・調査の実施

- 不公正取引等に対する課徴金制度の積極的活用
- クロスボーダー事案への積極的な取組み
- 重大・悪質事案への告発等による厳正な対応
- リスクアセスメントを通じた効果的なモニタリング手法の確立

(3)深度ある分析の実施と市場規律強化に向けた取組み

- 根本原因の追究
- 検査・調査で得られた情報の多面的・複線的な活用
- 情報発信の充実
- 市場環境整備への積極的な貢献
- 国際連携上の課題の問題提起を通じたグローバルな市場監視への貢献

(4)ITの活用及び人材の育成

- 市場監視におけるIT技術の更なる活用(RegTech)
- FinTech等のIT技術の進展を踏まえた市場監視の変化への対応
- 高度な専門性及び幅広い視点を持った人材の計画的な育成

(5)国内外の自主規制機関等との連携

- 自主規制機関との更なる連携強化による効率的・効果的な市場監視
- 多様な市場関係者(ステークホルダー)と連携した市場規律の強化

PDCAサイクルによる市場監視態勢の不断の見直し